

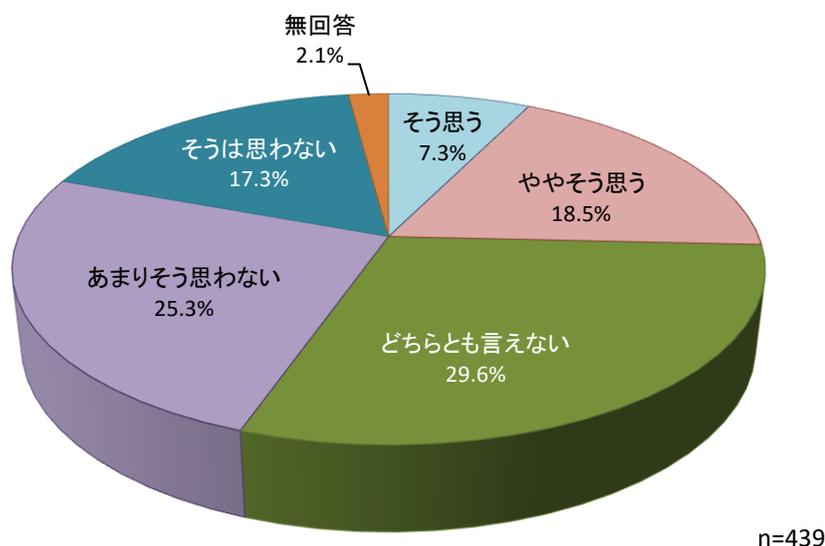
1 3. 自転車のまちづくりについて

(1) 自転車を使いやすいまちだと思うか

◇ 「そう思う」と「ややそう思う」を合わせた【そう思う（計）】が2割半ば

問 4 5	宇都宮市は自転車を使いやすいまちだと思いますか。	(○は1つ)
		n=439
1	そう思う	7.3%
2	ややそう思う	18.5%
3	どちらとも言えない	29.6%
4	あまりそう思わない	25.3%
5	そうは思わない	17.3%
	(無回答)	2.1%

<図IV-13-1>全体



自転車を使いやすいまちだと思うかについては、「そう思う」が7.3%、「ややそう思う」が18.5%で、これらを合わせた【そう思う（計）】は25.8%であった。一方、「あまりそう思わない」が25.3%、「そうは思わない」が17.3%で、これらを合わせた【そう思わない（計）】は42.6%であった。（図IV-13-1）

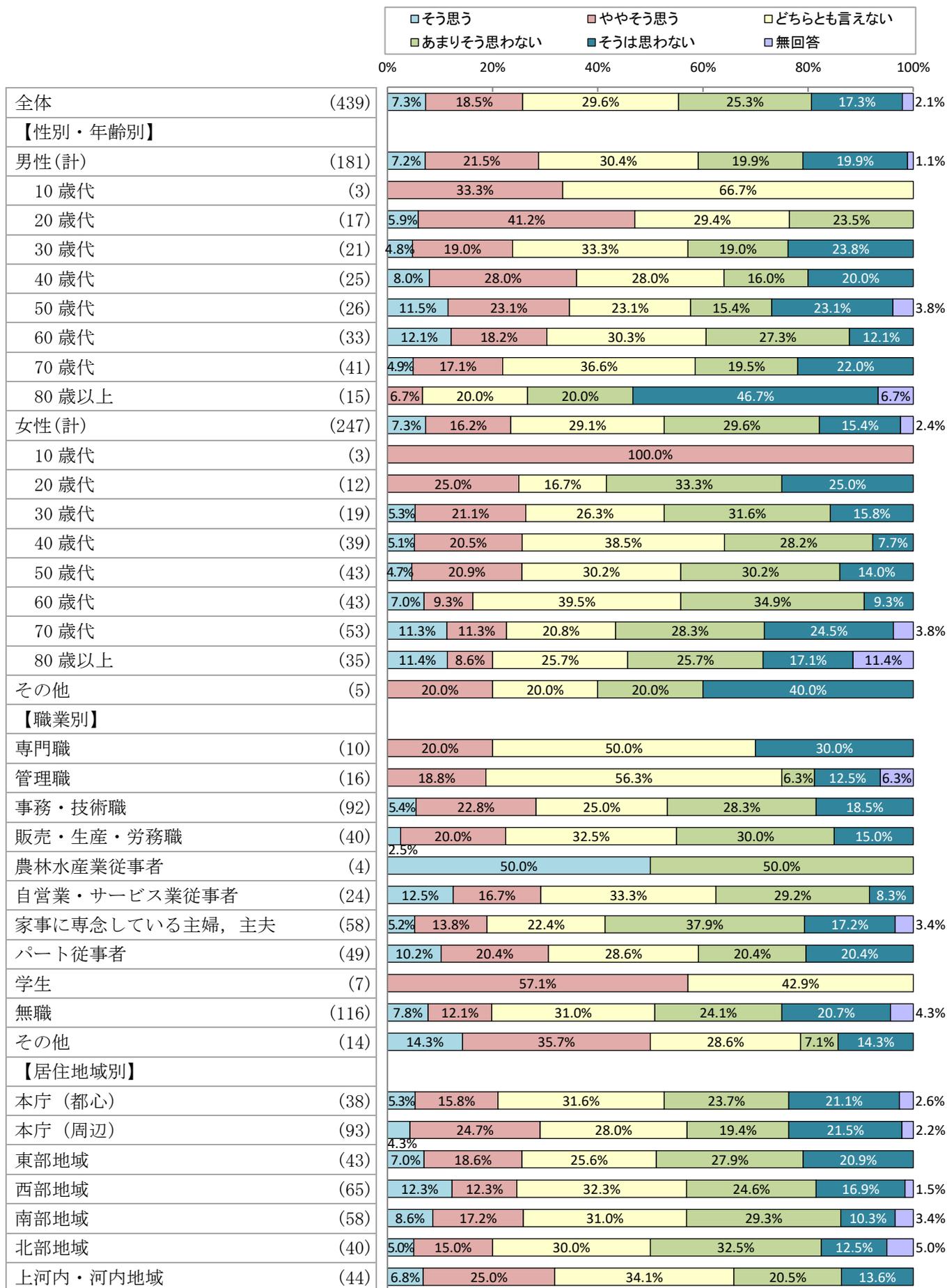
<参考>

性別・年齢別でみると、【そう思う（計）】は<女性10歳代>が100.0%、<男性20歳代>が47.1%であった。【そう思わない（計）】は<その他>を除くと、<男性80歳以上>が66.7%で最も高く、次いで<女性20歳代>が58.3%であった。（図IV-13-2）

職業別でみると、【そう思う（計）】は、<その他>を除くと、<学生>が57.1%で最も高く、<農林水産業従事者>が50.0%であった。【そう思わない（計）】は<家事に専念している主婦、主夫>が55.1%で最も高く、次いで<農林水産業従事者>が50.0%であった。（図IV-13-2）

居住地域別でみると、【そう思う（計）】は<上河内・河内地域>が31.8%で最も高く、次いで<本庁（周辺）>が29.0%であった。【そう思わない（計）】は<東部地域>が48.8%で最も高く、次いで<北部地域>が45.0%であった。（図IV-13-2）

<図IV-13-2>性別・年齢別／職業別／居住地域別

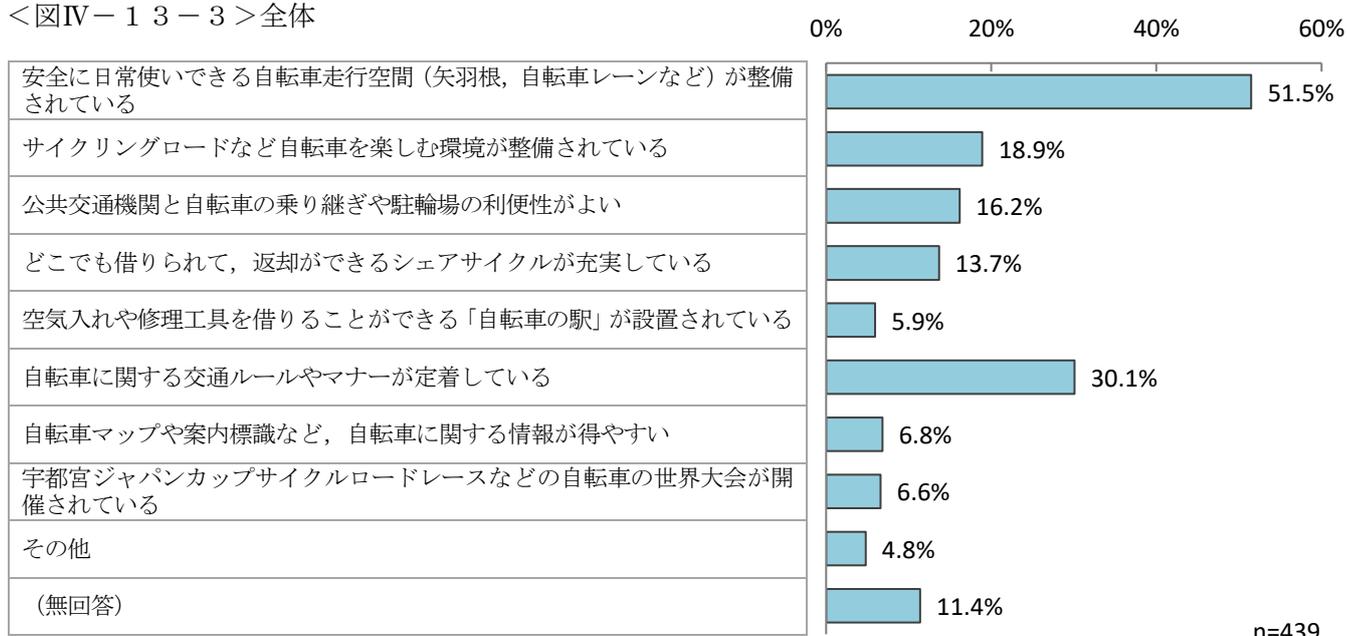


(2) 魅力ある「自転車のまち」を推奨していく上で必要な取組

◇ 「安全に日常使いできる自転車走行空間（矢羽根、自転車レーンなど）が整備されている」が5割強

問46 魅力ある「自転車のまち」を推進していく上で、必要な取組は何だと思いますか。		(〇は2つまで) n=439
1	安全に日常使いできる自転車走行空間（矢羽根、自転車レーンなど）が整備されている	51.5%
2	サイクリングロードなど自転車を楽しむ環境が整備されている	18.9%
3	公共交通機関と自転車の乗り継ぎや駐輪場の利便性がよい	16.2%
4	どこでも借りられて、返却ができるシェアサイクルが充実している	13.7%
5	空気入れや修理工具を借りることができる「自転車の駅」が設置されている	5.9%
6	自転車に関する交通ルールやマナーが定着している	30.1%
7	自転車マップや案内標識など、自転車に関する情報が得やすい	6.8%
8	宇都宮ジャパンカップサイクルロードレースなどの自転車の世界大会が開催されている	6.6%
9	その他	4.8%
	(無回答)	11.4%

<図IV-13-3>全体



魅力ある「自転車のまち」を推進していく上で、必要な取組については、「安全に日常使いできる自転車走行空間（矢羽根、自転車レーンなど）が整備されている」が51.5%で最も高く、次いで「自転車に関する交通ルールやマナーが定着している」が30.1%、「サイクリングロードなど自転車を楽しむ環境が整備されている」が18.9%と続いた。(図IV-13-3)

<参考>

性別・年齢別で見ると、「安全に日常使いできる自転車走行空間（矢羽根、自転車レーンなど）が整備されている」は、<男性10歳代>が100.0%、<女性10・20歳代>がいずれも66.7%であった。「自転車に関する交通ルールやマナーが定着している」は<その他>を除くと、<女性30歳代>が42.1%で最も高く、次いで<女性50歳代>が34.9%であった。(図IV-13-4)

居住地域別で見ると、「安全に日常使いできる自転車走行空間（矢羽根、自転車レーンなど）が整備されている」は<本庁（周辺）>が64.5%で最も高く、次いで<本庁（都心）>が55.3%であった。「自転車に関する交通ルールやマナーが定着している」は<本庁（都心）>が36.8%で最も高く、次いで<南部地域>が36.2%であった。(図IV-13-4)

居住地区別で見ると、「安全に日常使いできる自転車走行空間（矢羽根、自転車レーンなど）が整備されている」は<本庁>が64.0%で最も高く、次いで<陽南>が63.6%であった。「自転車に関する交通ルールやマナーが定着している」は<上河内>が60.0%で最も高く、次いで<国本>が41.7%であった。(図IV-13-4)

<図IV-13-4>性別・年齢別／居住地域別／居住地区別

- 安全に日常使いできる自転車走行空間(矢羽根、自転車レーンなど)が整備されている
- サイクリングロードなど自転車を楽しむ環境が整備されている
- 公共交通機関と自転車の乗り継ぎや駐輪場の利便性がよい
- どこでも借りられて、返却ができるシェアサイクルが充実している
- 空気入れや修理工具を借りることができる「自転車の駅」が設置されている
- 自転車に関する交通ルールやマナーが定着している
- 自転車マップや案内標識など、自転車に関する情報が得やすい
- 宇都宮ジャパンカップサイクルロードレースなどの自転車の世界大会が開催されている
- その他
- 無回答

